

公益社団法人 日本柔道整復師会・機関誌

日整広報

# Feel!Go!

VOL.258

秋号

2021/11

特集記事

## 東京2020オリンピック・パラリンピック 活動報告

公益社団法人 日本柔道整復師会  
[www.shadan-nissei.or.jp](http://www.shadan-nissei.or.jp)

# 日整貸与超音波観察装置(sv7)の会員への貸出について

日整は、匠の技伝承プロジェクト10年計画の中で、日整会員施術所への超音波観察装置導入を推奨しています。

これから超音波観察装置を導入しようとする会員、新型機種を検討されている会員に対して、標記超音波観察装置の貸出を始めました。

希望に応じて機器取扱い説明等のサポートも致します。

貸出を希望される会員は、所属の各都道府県柔道整復師会にお問い合わせください。



## 会員限定メール配信ツール 日整ニュースレター

会員の皆様にリアルタイムでダイレクトに情報を発信しています。  
(新型コロナ対応)会員支援事業の追加支援策も随時配信しております。  
下記の登録サイトからメールアドレスを登録して下さい。  
QRコードからも簡単に登録できます。



ホームページは  
こちら

<https://www.shadan-nissei.or.jp/>



- 2 | トップの視点 工藤鉄男
- 4 | 特集記事 東京2020オリンピック・パラリンピック活動報告
- 13 | 連載第6回 柔道に学ぶ道
- 14 | 「匠の技 伝承」プロジェクト 第1回指導者養成講習会 開催
- 18 | シリーズ連載 エコー観察装置講座(初級編3) 超音波で運動器をみる
- 28 | 新庄村整骨院～開設3年経過報告～
- 30 | 関連団体トピックス  
第1回認定機能訓練指導員実務研修会(アドバンスコース)を開催
- 31 | 本の紹介 『パーフェクト疲労骨折』
- 32 | 理事会だより
- 34 | 編集後記



Feel!Go!の最新号およびバックナンバーは  
日整ホームページでもご覧いただけます。

●日整ホームページ <https://www.shadan-nissei.or.jp/>

きん      こん      いち      ばん

# 緊 禪 一 番

公益社団法人  
日本柔道整復師会  
会長 工藤鉄男



皆さんこんにちは。新型コロナウイルス感染症の猛威も減少傾向となっておりますが、この苦しい経験を活かし油断せず健康に過ごされていることと存じます。また感染によりお亡くなりになられた方々には深く哀悼の意を表します。そして、地域社会のため人の健康のためにコロナ禍においても日々奮闘くださっている会員の先生方には、深く敬意と感謝を表したいと存じます。

申し上げるまでもありませんが、2021年もコロナにより大きく悩まれた一年でした。このような厳しい状況においても、施術の現場で奮闘している、多くの仲間がいることを忘れてはなりません。我々一人ひとりが、自らの業務を通じて支えあう事を、改めて、相互に決意したいと思います。

感染拡大による日常生活や経済への影響は今後もしくは続くと思定され、まだ先行きは不透明といえます。

世界でワクチン接種が開始され日本では5月より全国の接種会場、医療機関、職場などに広げ全ての国民に向けて現在も進められています。感染第5波の非常事態宣言下にあった7/23~9/5には世界を巻き込み開催の可否に物議を醸した東京2020オリパラもバブル方式を採用することにより感染対策を徹底し無事に開催されました。その後は感染者も9月に入り減少傾向となり、9月30日をもって非常事態宣言も解除されました。日整少年柔道大会も感染状況を判断しながら11月21日開催へ向け企画を進めています。日常生活に少し明るい兆しも見えつつありますが、第6波の襲来も

考えられまだ予断を許さない状況が続くものと考えられます。

## 新たな日常

一方、「新たな日常」に向かう社会の変容、例えばデジタルシフトは確実に進展し、「コンタクトレス・エコノミー」、すなわち人と人が接触を避けつつも活動等を行う環境が常態化するよう適切な手段を見出し、どうすれば新しい形、方法で目的を達成できるかを考え、実践することが求められています。

日本柔道整復師会でも政策部に「日整イノベーション本部」を常設し情報の一元化を目指し、各都道府県柔道整復師会に統一規格のホストシステムの整備を日整主導で行い、構築実働を目指します。当面は4都府県でテストを行い、システムソフト策定上の問題点や課題を抽出することを第1ステップとし、将来目標である療養費電子請求実現に向け動き出しました。また、もう一つは総務部内に新たに「個人契約サポートセンター」を設置し、柔道整復師向け「消費者センター」としての役割を担う相談窓口とし、いろいろな個人契約者が抱える諸問題解決や未来を担う若き柔道整復師や学生への情報発信となる部署と位置付けています。

## 心構え

闘いすなわち改革においては、一の信念は、百の知識にはるかに勝り、効果が高いといわれている

ます。勝つか負けるかの命を賭け「悪貨は良貨を駆逐する」復委任を利用した請求代行業者との「闘い」では、一つの目的を遂行するにあたり力を与えるのは高い知識だけではなく、戦略を完遂するという一の信念は絶対条件となります。

今、業界を正道に戻すための大きなビジョンの実現を目指すには「戦略なき戦術(実践)」は、結果的に大きな遠回りになってしまうのです。執行部は「復委任」と「請求代行業者」の在り方を問うこの一手に絞り込み実働を考えています。この困難なビジョン実現のためにはあらゆる角度から検討し、得た知識を基盤とした「知恵」は、イコール「闘い」に則した推進力が必要なのではないかと考えます。すなわち勝つということを確認した「知恵」でなければ、机上の空論に走りやすくなるということです。結果、「知恵」がイコール「闘い」とできない人は、いわゆる評論家と言わざるを得ません。

自らが旗幟鮮明に闘って成せるという自信と覚悟がなければ、いくら高邁な理論でも無責任な理論ということになりビジョンもそれは言うだけに終わります。

## 実現へ

ビジョンを実現させるためには所轄官庁や関係団体とも時間をかけ粘り強く高度な議論が必要となります。最終的にそれは何のために闘うのかを冷静に考えれば、高い志、理念のもとビジョンを実現させることによって、明日の幸せのためじゃなくて、10年後、20年後、100年後の柔道整復師業界の幸せのための闘いとなります。この厳しい闘いを完遂するには各都道府県社団や全国の会員は

じめ柔道整復師にはご心配とご迷惑をかけます。半年或いは2、3年ご迷惑をお掛けすると思いますが、時には耐えなければならない場合もあります。非常にこれは難しいことですが、我が執行部の心の奥底にあるのは、本当に柔道整復師に幸せになってもらいたいという、この一念です。

闘い抜いた改革が10年後、20年後、100年後に業として営む柔道整復師から本当に感謝されると信じ、決意をもって改革を遂行致します。少なからずご批判が出るのは覚悟のうえで、事を成し実現に向け執行部は「知恵」イコール「闘い」で挑みますので、会員皆様のご理解ある助勢をお願い致します。

## 未来へ向かって

私たち柔道整復師は、いついかなる時も、行動指針である「医療人の行動原則」に照らして、一人ひとりが自律的・主体的に考え、実践していかなければならない。そうした日々の行動の積み重ねが、厳しいコロナ禍を乗り越える原動力になると私は信じています。

未だコロナ禍にあり安全安心な出口は見えませんが、日整もこれまで培ってきた対面の強みに加え、非対面のコミュニケーション方法等、新たな武器を磨き続けています。この経験を活かし、いずれ必ず訪れるアフターコロナにおいて、強靱性・柔軟性・生産性を飛躍的に高め、存在価値ある医療人柔道整復師としてのあるべき姿に向かって大きく前進できるはずだと確信いたしております。夢のある未来に向かって、柔整ワンチームで明るく元気に、ともに頑張っていきましょう。

## 意味

きん こん いち ばん  
緊 禪 一 番

気持ちを引き締めて事にのぞむこと。難事などを前に心を引き締めて物事に取り組むこと。難事や大勝負などの前の心構えを言ったもの。

新型コロナウイルスの影響で歴史上初の1年延期となった東京2020オリンピックとパラリンピックが約1ヶ月半にわたり開催され、世界のアスリートが日本に集まった。コロナ禍にあっても大会に携わるさまざまな人たちが力を結集しての祭典であった。

日整も全国から選んだ20名の会員と(公社)東京都柔道整復師会(以下、都柔整)の会員100名が交代で大会の成功に協力し、IOCの視察団から絶賛を受けた(下記、都柔整からの報告記事参照)。他にも各都道府県から届いた報告記事を掲載する。(都道府県順不同)

## ■ (公社)東京都柔道整復師会

7月24日から9月5日まで開催された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に、日整より全国から選ばれた20名の会員による救護活動が幕を閉じました。

メンバーはコロナ禍で事前講習会も、すべてリモートで毎回深夜にまでおよび、柔道競技では17名、水泳会場2名、カヌー会場に1名が選任され交代で活動を行いました。

柔道競技では講道館の練習会場と武道館に医師、理学療法士、柔道整復師のチーム構成で毎朝医師を交えての打ち合わせの後、現場にて活動。ケガをした選手の応急手当ではなく、救急搬送が主な活動に皆戸惑いながらもチームワークで最後まで乗り切り、IOCの視察団からは柔道整復師の素早い動きに絶賛

されていたそうです。全日本柔道連盟医科学委員会の医師からも、今後開催する国際大会での活動を要請されました。また、都柔整では海外メディア対象の救護ならびにフィジカル・トリートメントルームを東京有楽町駅前のTokyo Media Center内に開設。毎日3人体制で100名が交代で活動しました。海外の報道関係者からは好評で毎日約20人が来館、リピーターも多く、スポーツ誌やYoutubeの取材も多く受けました。期間中は何度となく工藤鉄男日整会長はじめ、理事者も見学を訪れ会員を労っていただきました。大会期間中、自身の施術所を休んでオリパラ活動に参加いただいた会員の皆様に感謝申し上げます。



待機する会員



工藤鉄男日整会長

# ピック・パラリンピック

## 報告

### ■ (公社)茨城県柔道整復師会

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、私たち柔道整復師が競技場でのメディカルスタッフの一員として大会史上初めて参加が認められました。私達が参加できたのは、茨城カシマスタジアムで行われるサッカー競技でした。

2019年11月15日サッカー競技AMSV(選手用医療統括者)である上牧裕医師(茨城県サッカー協会評議員、日本赤十字社水戸赤十字病院副院長)が組織委員会より人選を一任され、それを受け柔道整復師枠が本会の竹藤会長に依頼され実現となりました。参加メンバー決定後、2019年11月より組織委員会医療サービス部が晴海トリトンスクエアを中心に全国数か所で開催する医療従事者対象の役割別研修(e-learning有)に参加しました。オリエンテーション・技能実習のレベルが高く、東京2020組織委員会のオリンピックに向かう本気度を痛感させられました。特にCPR訓練は1組30名に対し正誤判定機能付きシミュレーターを各自1体ずつ配置され、センタースクリーンに各自の技術正誤評価をパーセントで表示徹底ぶり、続いて30名を6班に分けてスクープストレッチャー・ヘッドイモビライザーCHを使用し担架搬送訓練が行われました。全参加者はプライドをかけて熱の入った真剣な講習となりました。しかし、2020年の1月ごろからコロナ感染症によるパンデミックが起き、2020年3月24日大会開催が延期となり仕切り直しとなりま

した。2021年7月開催決定を受けカシマスタジアムにて2度目の会場別研修を改めて行いました。そして迎えた大会当日もFIFAメディカルオフィサー(医師)よりミーティングと実技講習を全てが英語で行なわれ、『君達は準備と覚悟は出来ているのか?君達の行動は世界中のメディアで放送されている。決してミスは許されない』などと、気合を入れられ試合に臨みました。私は行われた3試合を医師1名、理学療法士1名、柔道整復師2名でベンチ脇に待機し極度の緊張感の中で試合を見守り、無事に大会で任務を完遂することが出来ました。

大会後、上牧先生及び組織委員会より、様々な不手際や過密スケジュールにも迅速丁寧かつ寡黙に対応した活動が認められ東京2020大会の成功に貢献してくれたことに称賛の言葉を賜りました。

最後になりましたが、長期にわたり格別のご支援を賜りましたことに対し御礼の言葉を申し上げます。



CPR訓練風景

## ■（公社）岡山県柔道整復師会

コロナ渦であり、更に国際大会特有の箝口令が敷かれる中、情報の漏洩防止に注力し、また新型コロナウイルス感染予防対策に細心の注意を払いながらのケア活動となりました。

当初オリンピック自体が開催されるかどうか懸念されていましたが、オリンピック開催決定となり、急転直下正式に事前合宿も行われることが決定し、USA 七人制ラグビーチームからは様々な要望や急な内容変更があり現場は相当混乱しました。しかし、当会では従前から準備を行っていたため短期間のうちに準備を進め、この事業を無事に完遂することが出来ました。また会員によるケア活動自体もスタッフ全員、一人の脱落者もなく本事業を進めることができました。

この度のケア活動では、長尾日整学術教育（兼国際）部長、大分県理事の指導、協力を得てデープティッシュマッサージを修得し、現場で代表選手にその施術を行いチームから高評価を戴きました。また、大変危惧されていたコ

ロナ感染者を一人も出すことなく完遂することができ、スタッフ全員安堵いたしました。日本柔道整復師会には急な事態にも拘わらず快くご支援いただき、美作市及び萩原市長はじめ大会関係者にも大変喜んでいただき、重要な国際交流の一翼を担うことができました。

この体験をいかに社会や業界にアピールし、柔整師会及び多くの柔整師の発展のために生かし、また今後も開催される世界大会レベルのケアに参加するために問題点と課題を分析し、どのように次世代に記録と実技を継承するかを考えなければなりません。さらに、このたび修得した世界のトップアスリートが望むリカバリケアとしてのスポーツオイルマッサージを、通常の柔整業務に取り入れ活かすか等、建設的な課題も多く残りました。それぞれを慎重に評価、分析し、この体験を通しての施術技術の新構築を図る必要性を考えさせられる貴重な活動となりましたことをご報告いたします。



サイン入りラグビーボール



選手と記念撮影

## ■ (公社) 宮崎県柔道整復師会

7月2日、27日、30日の3日間、練習会場の講道館や日本武道館で救護を行いました。主な活動として、スクープストレッチャーを使用しての搬送や医師の救護補助(応急処置、止血、締め技後の対応)、畳に付着した血液の掃除などを行いました。

世界大会救護のスタンダードであるチーム医療に入るためには、スキルの必要性を痛感しました(共通言語、共通理解、団体行動など)。国によってケア方法に違いがあり、その理解も重要と感じました(イタリアでは重度外傷の場合レントゲン検査前に整復を施してはいけない等)。

奈須 崇倫 会員

7月25日から6日間、葛西カヌースラロームセンターで救護を行いました。主な活動として、練習時の切創の対応や熱中症の処置でした。今後、日本でのカヌースラローム競技国際大会の誘致を期待しています。

比江島 崇 会員

7月27日から8月5日まで、東京辰巳国際水泳場やお台場海浜公園、東京アクアティクスセンターで水球・競泳・飛び込み・OWS(Open Water Swimming)の救護を行いました。水球では擦過傷の処置、競泳では血圧測定や足趾の擦過傷の処置、レース後の嘔吐物処理(消毒)などを行いました。OWSはレース後半に気温34℃、水温29℃で体温が上昇し医務室は熱中症の選手の対応に追われました。そん

な中、選手2名を労作性熱中症のため引き上げ、自立歩行困難の選手を選手村ポリクリニックに搬送して処置を行い、右目切創した選手にはステリーテープとガーゼで保護をしました。ゴール時間に、ストレッチャーや機材の移動が間に合わずギリギリの時間での対応となりました。選手引き上げ地点や医務室での役割分担・交代時間などの確認不足が露わになり、再度、事前練習の必要性を実感しました。来年の世界水泳選手権に向けての課題となりました。

白水 豪 会員

柔整師も外傷における応急処置・手技療法・テーピング等の優れた技術がある事をアピールすることが緊急課題です。今まで行ってきた社会貢献としての救護活動も継続させ、よりスポーツ現場に足を運び携わっていく必要があります。医師・PTとの間で柔整師が医療情報の理解・共有ができるための環境を整え、多くの機会を設けるべきと考えます。

この度の貴重な機会にご協力を頂いた五輪組織委員会、日整、県柔整師会の皆様に心より感謝申し上げます。



葛西カヌースラロームセンター集合写真

## ■ (公社) 新潟県柔道整復師会 關 満彦 会員

東京2020オリパラ開催に先がけ、2020年12月新潟県障害者スポーツ協会会長立川厚太郎医師より、パラ五輪陸上マラソン日本代表永田務選手の新潟県村上市出身のトレーナーとして、チーム永田に加わってもらいたいと話があり招集を受けました。

永田務選手は、2021年2月びわ湖毎日マラソンにてアジア新記録を樹立。正式に日本代表に内定、その後私も永田選手のトレーナーとしてJPC(日本パラリンピック委員会)より委嘱と契約をし、本格的に活動が始まりました。帯同にあたり私は永田選手に、「9月5日パラ五輪マラソンT46レース本番時は、体のどこにも痛みがなく万全な状態で必ずスタートラインに立たせる」と約束しました。

永田選手は、2010年12月勤務先のリサイクル工場でベルトコンベアの破砕機に右腕を巻き込まれ、手術を30回以上行う重い障害を負いました。右上肢～肩甲骨は全く動かず、左上肢および体幹・下肢で右上肢の障害をカバーする走り方をしており、ケガを繰り返していました(右上肢の不随意でT46上肢障害というカテゴリーにクラス分けされています)。

そこで、まず私が着手したのは永田選手の走りの改善です。びわ湖毎日マラソンのレース前に旭化成で行った合宿で右膝を痛め、痛みの連鎖で左ハムストリング痛に悩まされまし

た。上肢・体幹の使い方を見直し、なるべく下肢に負担をかけない走り方を指導し、又走行時負担のかかる左上肢や体幹・下肢を中心に本人の要求に応じて細かい部分までケア・リハビリを行いました。

2021年1～4月迄は当整骨院にて施術し、5～8月下旬まで事前合宿地に帯同し、レース直前までケアを続け、永田選手は万全の状態です。レース本番を迎える事となりました。

2021年9月5日永田選手は3位入賞、メダルの色は銅でした。パラ五輪マラソンレース本番はしっかり粘りの走りを見せ頑張ってくれました。

永田選手は、新潟県県民栄誉賞を受賞する予定です(式典には私も参加依頼が来ています)。銅メダルを獲得し新たな感動を覚え、3年後のパリ・パラ五輪で金メダル獲得を目指しベンジに燃えています。今後も永田選手をFollow upしていきます。



關満彦会員が永田選手にケアをする様子



關満彦会員(左)と、永田選手(右)



關満彦会員(中)、永田選手(右)

## ■ (公社) 東京都柔道整復師会 松本 宗三 会員

私は2020東京オリンピックに、ソロモン選手団のアタッシュ(連絡員)及びメディカルトレーナーとして参加しました。きっかけは2012年のロンドンオリンピックの時に、-60kg級 Tony Lomo選手のコーチ兼メディカルトレーナーとして参加したのが縁で、今大会も同選手団の一員として参加させて頂きました。

主な活動として、アイスバスによるクールダウン、試合に向けての身体のメンテナンスを中心に3選手のケアを行いました。その結果3人共に自己ベストを出し、皆んなで喜びを分かち合いました。また、開閉会式にも参加させて頂きました。このような貴重な体験をさせて

くださったソロモン選手団の皆様、ありがとうございました。



選手と記念撮影



選手と記念撮影



松本宗三会員によるケアの様子

## ■ (公社)神奈川県柔道整復師会 山後 恭一 会員

参加期間:2021年7月19日～8月8日

会場:東京アクアティクスセンター・武蔵野の森室内プール(水泳女子練習会場)

メディカルサポート参加競技:競泳・水泳・飛び込み・アーティスティックスイミング

参加職種:アスリートケアアシスタント(ACA)



山後恭一会員

## ■ (公社)山口県柔道整復師会 中園 隼人 会員

葛西臨海公園のカヌースラローム競技会場でボランティア活動を行いました。本来ならば観客の救護活動を行う予定でしたが、無観客となり1日のみの活動となりました。しかし、世界トップレベルの選手の競技会をサポート出来たことは、とても良い経験になりました。

感染対策、大会運営、救護体制など多くの事が学べたので他の会員や地元にも、この経験を還元出来ればと思います。



中園 隼人 会員

## ■ (公社)愛知県柔道整復師会 加藤 修 会員

リオオリンピック代表決定戦の少し前から大野将平選手の身体のケアをさせて頂いているご縁で、2021年7月22日から7月31日まで、東京オリンピックサポートメンバーとして帯同しました。

主な活動として、柔道場での調整練習中及び練習後のケア(選手数名、スタッフ含む)や、日本武道館での試合当日のケアを行いました。試合では屋外でケアをする緊急事態も発生しましたが、8月1日に無事サポートチーム解散となりました。全ての日程でホテルやNTC、柔道場、科学技術館等に於いてPCR検査、消毒、行動履歴書提出等の徹底したコロナ対策も実施され、現場での緊張感に拍車をかけられました。

連日のメダルラッシュに沸いた今回の柔道チームのオリンピックでしたが、選手は元より裏でサポートするメンバーの方々の努力と苦勞

は計り知れないものが有りました。私も少なからずその一助を担う事ができたという自負と、今後も柔道整復師の知識や技術を日々努力研鑽し、いつでも活動できるようにしなければならぬとさらに心の帯を引き締め直しました。

最後に、今回大変お世話になりました全日本柔道連盟、天理柔道会の方々、旭化成柔道部の皆様に、心より感謝とお礼を述べさせて頂きたいと思います。ありがとうございました。



練習場:味の素ナショナルトレーニングセンター

## ■ (公社)香川県柔道整復師会 細谷 義美 会員

東京2020オリンピック、カヌースプリント競技へ参加させて頂きました。カヌースプリント競技とは静水面で着順を競う競技で8月1日から8月7日まで東京都江東区海の森水上競技場(SEA FOREST WATER WAY)で開催されました。

カヌースプリント競技会場のFOP(Field of Play)医療チームは医師、看護師、ACA(Athlete Care Assistant)により構成され、屋外のメディカルステーションで選手へ医療救護サービスを提供します。FOP医療チームの主な活動内容は救急対応、暑熱対策や対応、水上レスキュー隊、消防救急隊と協力しての搬送などです。

本大会は一般的な大規模国内大会とは異なり国際オリンピック委員会(IOC)と東京オリンピック組織委員会等から国際水準の医療体制や迅速で高度な医療救護対応が求められていました。一般的な救急対応はもちろんの事、COVID-19をはじめとする感染症に加えて、WBGT(暑さ指数)が31.0を超える暑熱環境下での熱中症対策や対応など、多様な知識と判断が必要な医療救護活動となりました。

このような高度な医療救護が求められる大会でしたが、組織委員会の事前研修やeラーニング学習、大会期間中の競技開始前毎日の訓練により医療チームが安心安全な大会運営を目指し、共有する事で迅速な医療救護対応も可能になったと考えられます。日々、香川県柔

道整復師会が唱える『人間力』を大切にして協働する医療救護経験も大変役立ち、オリンピックという国際的な大規模大会でも他医療従事者や消防隊などの他業種ともスムーズに連携する事が出来ました。

『人間力』とは、内閣府によると『社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力』とあります。本大会へ向けた事前学習の際にも、日本オリンピック委員会(JOC)が掲げる選手強化のスローガンに『人間力なくして、競技力向上なし!』という言葉がありました。

本大会で得た貴重な経験を大切に、さらに『人間力』を磨き日本柔道整復師会の会員として柔道整復師のインテグリティ(誠実性・高潔さ)を高めるため、今後も医療救護活動を継続していく所存です。



細谷 義美 会員

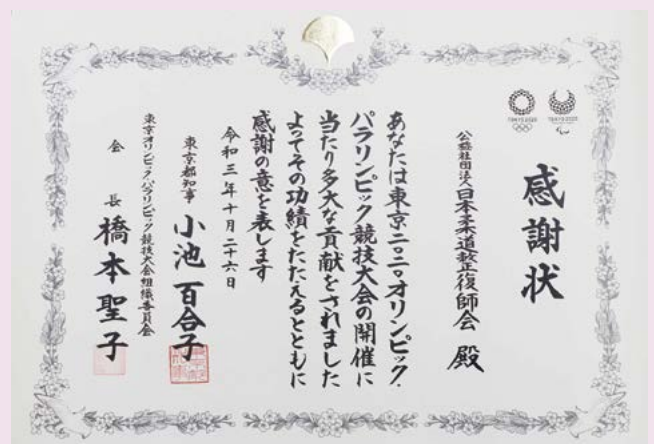
## ■ 感謝状贈呈式

東京2020オリンピック・パラリンピック大会にかかる感謝状贈呈式が、令和3年10月26日、東京都庁第一本庁舎5階にて15時15分よりオリパラメダリスト同席で開催されました。贈呈式では卓球で五輪男子団体銅メダルの張本智和選手がオリンピックを代表して挨拶し、パラ自転車2冠に輝いた杉浦佳子選手が協力団体に向けて心のもった感謝の言葉を述べられ、同席のメダリスト全員と大会関係者より大きな拍手が寄せられました。

この度、感謝状を受けた団体は、日本医師会をはじめ医療関係団体と日本商工会議所や日本財団など39団体、日本柔道整復師会は10番目に呼ばれ、小池百合子東京都知事、橋本聖子オリパラ組織委員会会長から感謝状が代表者に授与されました。贈呈式終了後にお二人と大会組織委員会の役員を囲んで全団体代表との記念撮影も行われました。東京2020大会には、全国から選抜された会員が柔道競技をはじめ多くの競技に救護として参加、また、東京メディアセンターでは(公社)東京都柔道整復師会会員延べ100人が、毎日交代で海外からの報道関係者のフィジカルケアにあたりました。

### 日整からの派遣者20名

都道府県	氏名	種目
山形県	稲葉 裕	柔道
千葉県	川島 義美	柔道
千葉県	関根 有策	柔道
東京都	浅沼 剛成	柔道
東京都	岡田 敏秀	柔道
東京都	木下 美聡	水泳
東京都	小杉 信輔	カヌースラローム
東京都	瀧澤 一裕	柔道
東京都	中島 茂	柔道
東京都	山本 裕加	柔道
愛知県	井原 正晴	柔道
愛知県	山田 直樹	柔道
愛知県	渡辺 正哉	柔道
岐阜県	高橋 仙二	柔道
宮崎県	白水 豪	水泳
宮崎県	奈須 崇倫	柔道
宮崎県	比江島 崇	カヌースラローム



## 柔道に学ぶ



人生の答えは柔道にあり。

嘉納治五郎師範の言葉に学ぶエッセイコラム



講道館道場指導部長

鮫島元成

昭和25年鹿児島県生まれ。

昭和49年東京教育大学体育学部卒。  
全日本柔道連盟教育普及委員会副委員長。柔道連盟強化コーチとしてナショナルチームを指導。日整全国柔道大会など4大会の大会審判長を務める。

**勝った、負けたはその瞬間で終わり。いつまでも、勝者、敗者ではない。その経験を人生の勝ちにつなげなければならない。**

「勝つにしても道に順って勝ち、負けるにしても道に従って負けなければならぬ。負けても道に順って負ければ、道に背いて勝ったより価値があるのである。」(『有効の活動』第8巻第2号大正11年)

「将来、大いに伸びようと思うものは目の勝ち負けに重きをおいてはならぬ」(『有効の活動』第6巻第4号大正5年)

「あくまでも正当の手段を取り、礼儀を重んじ、男らしく立派に立ち合い、それがため、よしや負けることがあっても消して落胆するに及ばぬ。なぜなれば、柔道の真の精神に適う行いをして負けたのであるから、決して恥ずることはない。」(『国士』第2巻第9号明治32年)

東京2020オリンピック・パラリンピックが多くの話題を残して終了した。オリンピック柔道競技において日本選手団はこれまでの努力の結果を遺憾なく発揮し立派な結果を残した。パラリンピック柔道競技の結果はメダル2つという結果であったが、関係者からよく健闘したとの声が聞かれた。

嘉納師範の教えには、勝負についての考えが多く残されており、特に負けた場合の心の持ち方について教えている。その内容を自分なりに解釈すると「勝ち負けにこだわらずに堂々と勝負をこなさい、結果は特に大きな問題ではない」というふうに捉えることができる。もちろん勝つための努力をしていけば勝ちを望むのは当然のことである。しかしどちらかが負けるのである。負けた者への配慮の言葉が師範らしい。

オリンピックの日本選手の個人戦のメダル数は14階級中、11個(うち金9個)である。エントリーした選手は393名(男子201・女子192、うち欠場者5)である。

そのうち個人戦で負けを経験しなかったものは金メダルを取った14人だけ、残りの379人は負けを経験している。そして、金メダルを取った日本選手9人も男女混合団体戦で4人が負けている(阿部詩・大野将平…対ドイツ戦・新井千鶴・ウルフアロン…対フランス戦)。結局オリンピック柔道競技において負けなかったものは10名、393人中383人が負けを経験しているのである。

勝者がいつまでも勝ちを驕ってはいけなく、敗者がいつまでも落胆してはいけなくということである。「驕れるもの久しからず」という言葉があるが、柔道だけでなく、他の競技においても、ある大会で勝った後、マスコミからちやほやされ自分の立場を勘違いし、そして低迷につながる例が多い。お笑い番組に出演するのもいいが、あくまでも本分をわきまえる必要がある。

最初に述べた嘉納師範の言葉の本質を我々柔道人は熟考しなければならない。師範が述べた柔道の目的は「心身の鍛錬と勝負の修行」、言い換えれば勝負の修行を通して人間性を高めることである。さらに師範は「なぜ『柔術』といわず『柔道』と称えるのか」というと、自分の説くところは単に術ではない、術も講ずるが主とするところは道である」と述べている。「道」とは、例えば、道徳的な規範の遂行、真実、人間の生き方の探求である、つまり試合でチャンピオンになることではなく、人生のチャンピオンになることである。

コロナ禍で行われた大きい行事が終了した今思うのは、また、嘉納師範のおおらかさ、優しさである。

# 第1回指導者養成講習会 開催

2021年9月26日(日)日本柔整会館において、第1回指導者養成講習会が開催された。

講習内容は、橈骨遠位端骨折の整復・固定技術実習と超音波観察装置取り扱い技術実習である。

オンラインによる講習会は、今回が初めての試みとなる。ライブ配信のような一方通行の配信ではなく、双方向でのやり取りを可能にしたことで、受講者が行う実技の様子や描出した超音波画像を、講師がリアルタイムでチェック・指導するなど、対面での講習会にも引けを取らない程の質を確保できた。



工藤鉄男会長

工藤鉄男会長は「今回は第1回目となる指導者養成講習会であり、本来であれば47都道府県社団の皆さんが一堂に会して行うところであるが、コロナ禍での開催となり皆様にはご不便をおかけしているが、ご協力に感謝申し上げます。江戸時代から続く我々の匠の技術は明治時代に全盛を誇り、さらに昭和の時代にはレントゲン等の医療機器を用いて患者を治していたという事実がある。整形外科がない時代には『骨折・脱臼は接骨院の先生にお

任せしよう』という機運があった。その後、個人契約者の増加や養成校の乱立等が起こり、現在、柔道整復師は世間からの信頼を失ってしまっている。信頼を取り戻すために、日本柔道整復師会は骨折・脱臼をしっかり手当てできる柔道整復師を育成する。その裏付けとして超音波観察装置という科学的検査機構を用いることで、社会との信頼関係を築いていきたいと考えている。すべての柔道整復師が検査機構として超音波観察装置を使用しているという状況を目指して、皆で勉強し『骨折・脱臼の手当てができる柔道整復師』として、この令和の時代に新たなスタートを切りたい」と、熱く述べた。



長尾淳彦学術教育部長

長尾淳彦学術教育部長は「この『匠の技 伝承』プロジェクトは、柔道整復術公認100周年を記念して、10年計画で行われる事業である。骨折施術・脱臼施術、そして超音波観察装置の取り扱いの3つを、我々は『3本の矢』としている。我々は、全国の接骨院で『いつでも・どこでも・どなたでも』均一的な施術を受けられる、また均一的な施術を提供できるという業界を創っていきたいと考えている。この事業は日本柔道整復師会だけでなく、本日参加されている47都道府県社団の皆さんとともに進んでいく、一大事業である。我々柔道整復師のアイデンティティは、応急処置といえども骨折・脱臼を診ることができることであり、これを手放してはいけない。そこで日本柔道整復接骨医学会では、骨折施術・脱臼施術・超音波観察装置の取り扱いについて、認定制度の立ち上げに向けて動き出している。これは学術団体のみならず、日本柔道整復師会、研修試験財団、全国柔道整復学校協会、厚生労働省、日本医師会といった様々な力を結集して取り組んでいる。今回ご参加いただいている指導者候補の皆さんには、将来ご自身の都道府県でこのような研修が行われる際には講師として参加していただきたい。皆で構築していくという気構えを持って講習に臨んでいただきたい」と、趣旨説明を行った。



オンライン配信の様子



司会：篠弘樹学術教育部員

## ◎ 整復・固定施術技術実習

講師： 特別諮問委員 山口 登一郎

山口講師は、少人数で施術を行う接骨院でも取り入れることのできる実践的方法として、一人でできる前腕骨遠位端骨折の整復・固定法について解説。

「上腕の遠位端部にバスタオルを載せ、寝台の上に乗って足で固定する。一番大事なのは両母指と両示指の当て方。手根部と前腕遠位端を包むようにしっかり密着させて末梢方向に牽引することがポイント。両母指は遠位骨片の背側に当てる。両示指は近位骨片の遠位端に当ててゆっくりと末梢方向、そして尺側気味に牽引する。女性など力の弱い方は膝に前腕を当てて膝の力も利用して牽引すると良い。手に汗をかく人はラテックスグローブを使用するのもひとつの方法だ。牽引しつつ、両示指を支点として背側から掌側方向に、両母指で直圧を加える。そして触診で末梢片と中枢片が適合したところで回内して掌屈する。これが整復の一連の流れとなる。そのまま手を放さずに寝台から降り、固定に移る。固定に用いるクラメル金属副子は、フラットにすると接

地面がうまく当たらず、固定した後にずれてしまうため、手掌部、前腕部のアーチにぴったり合うように作成すること。MP関節が屈曲できるように固定することも予後を良くするためにはとても重要となる。患部が確認できるよう、シーネを把持しながら手関節部と前腕近位に包帯を巻く。一人で包帯を巻くのは難しいため日々の鍛錬が必要になる。固定がずれないことを確認したら、血液循環を確保するためにカナルシートを使用する。下巻きとして包帯を一周巻いたら、カナルシートの凹凸面を皮膚側に向けて当てる。その後、背側にカーブに沿わせて採型したクラメル副子を当てて固定する。最後に、三角巾で提肘する。患者さんを座位にする際には急に起こすと貧血を起こす可能性もあるので、ゆっくり起こすようにすること」など、整復・固定を実践しながら丁寧に解説した。

その後、各地域から参加する受講者が実技を行い、モニターを用いてオンラインで確認・指導を行った。



## ◎ 超音波観察装置取扱技術実習

講師： 学術教育部員 佐藤 和伸

超音波観察装置の取り扱いについて、佐藤講師は「画像は必ず向かって左側が中枢、右側が末梢となるよう観察する。プローブを持ったらずまず中枢がどちらになるのかを確認する。持ち方としては第4指、第5指はプローブから少し出して、身体に少し触れるくらいのほうが安定する」と基本を説明したうえで、橈骨を例として超音波観察を実践。「観察時にはランドマークを決めておくと、第三者が見たり保存したデータを確認したりする際に、どこを撮ったかわかりやすい。背側からの描出ではリスター結節をランドマークとする。エコーの一番高い部分が一本の線のようになるよう描出すること。リスター結節から尺側に移動すると、長母指伸筋が層状の線状高エコーとして出てくる。長母指伸筋は橈骨下端骨折の後発疾患として断裂する場合もある。リスター結節から橈側に移動すると総指伸筋が描出される。茎状突起もまた線状高エコーとして描出される。

橈側から撮影する際、橈骨下端の怪我をされた方に回外するのは良くないので、中間位で描出する。掌側の場合は手根骨をランドマークとする。橈骨の橈側でランドマークとなるのは舟状骨。舟状骨から中枢にスライドさせ、尖った山のようなものが描出されれば橈骨掌側の外側が撮れている。手根骨から尺側に移動すると月状骨が丸く描出される。そこから中枢にスライドさせると左から右にかけて台形のような形で掌側が見えてくる」など、位置関係を確認しながら描出のされ方を解説した。

その後、各会場の指導者候補の超音波観察方法をオンラインで確認し、描出のコツや改善方法について詳細に指導。佐藤講師は「プローブの使い方は技術というよりも慣れることが重要。関節を動かしながらリアルタイムに骨や腱の動きを描出することもできる。慣れるためにも楽しんでどんどん観察してほしい」とコメントした。



# 超音波で 運動器をみる

## ■ マレットフィンガー

スポーツのケガで、しばしば遭遇するのが、指の損傷です。その中で、「指が下を向いて動かないです」或いは、「指が下を向いていて少し時間がたてば戻るかと思っていたのですが、なかなか戻らないので来ました」などを訴えて、来院することがあります。



38歳女性 バレーボール練習中ボールを突き負傷

## ■ 骨性マレットII型 ファントムを使い描出する

ファントムで末節骨基底部に裂離による骨折を再現する。

右の超音波画像では、骨を表す線状高エコーが、二重に描出されていますが、下はアーチファクトです。



## ■ ファントムを使い骨折を再現する

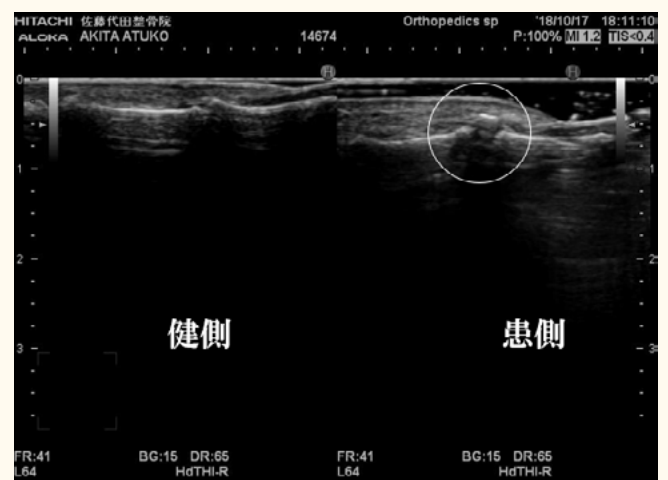
伸筋腱により裂離した骨片は、上方に転位し緊張を失った末梢は屈曲する。また、裂離した骨片が大きいと関節面は不安定となる。



## ■ 背側からの長軸走査

超音波画像において、裂離した骨片は背側に転位している状態を観察できるが、骨片の表層によりエコーは反射されるため、深層部を観察することが出来ず、大きさや形状を判断することが出来ない。

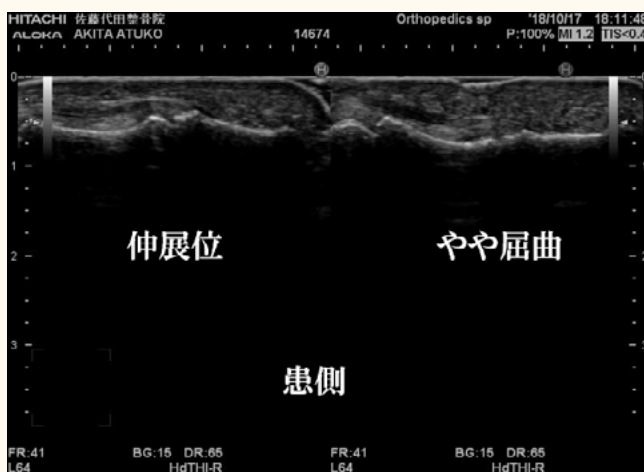
整復する際は、骨片の大きさによる関節の不安定性を考えDIPを過伸展し、転位を大きくしないよう考慮する。



## ■ 掌側からの長軸走査

掌側からの描出は大変重要で、長軸走査により中節骨と末節骨の位置関係を観察する。

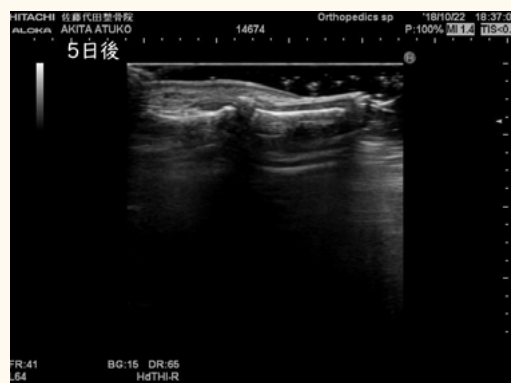
骨折により関節の不安定がある際には、末節骨は掌側側に偏位する。



## ■ 経過を観察する

5日経過

固定は伸展位から軽度屈曲とし、圧迫等により正常の位置に誘導する。



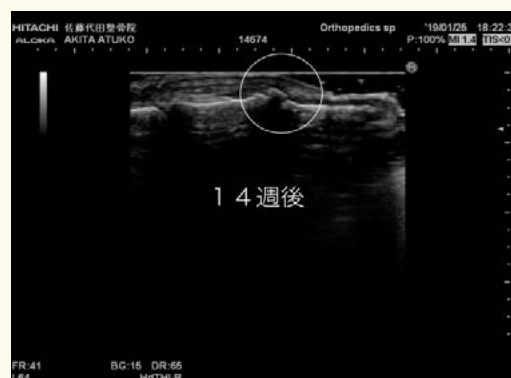
8週後

DIPの屈伸を行い動的観察を行う。骨癒合においては、骨片と共に安定した屈伸を観察する。



14週後

8週での骨折線部の尾引き様のコメントサインは観察されるが、14週においては内軟骨性仮骨により消失する。

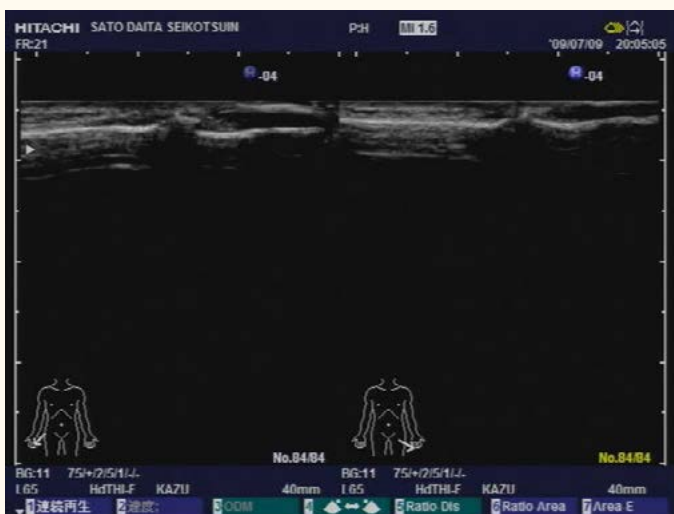


## ■ 亜脱臼を伴う骨性マレットフィンガー 初見時末節骨基底部に骨折を観察する

末節骨基底部に、転位のある線上高エコーの裂離骨片を観察する。

骨片の形状、大きさは不明。

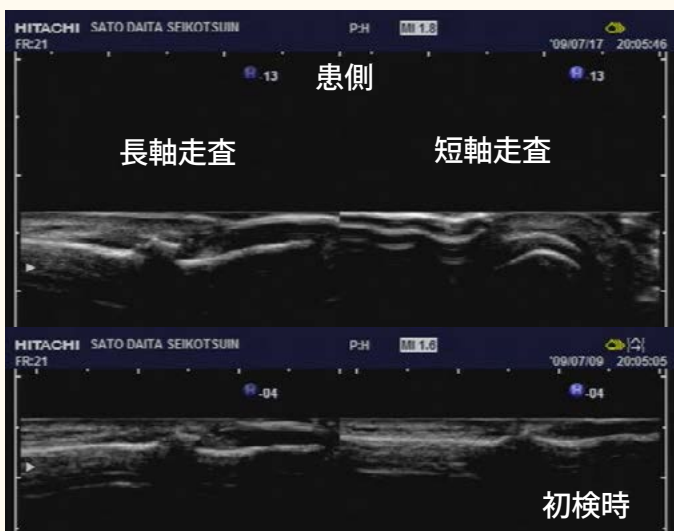
対診後、DIP軽度背屈にて固定。



## ■ 1週間後、背側からの長軸走査

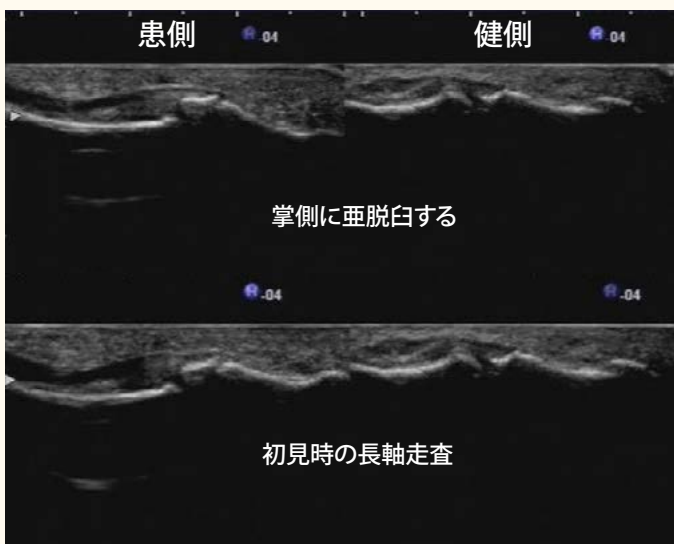
右の画像は、上が1週間後、下が初検時のものです。

固定肢位過伸展のため、裂離骨片は背側に押し出され、末梢は掌側に亜脱臼する。



## ■ 1週間後、掌側からの長軸走査

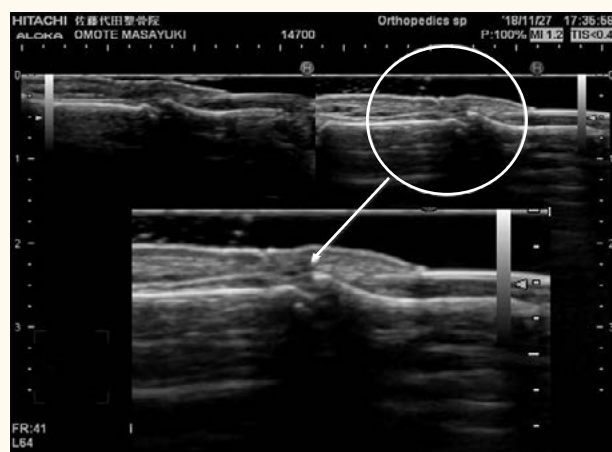
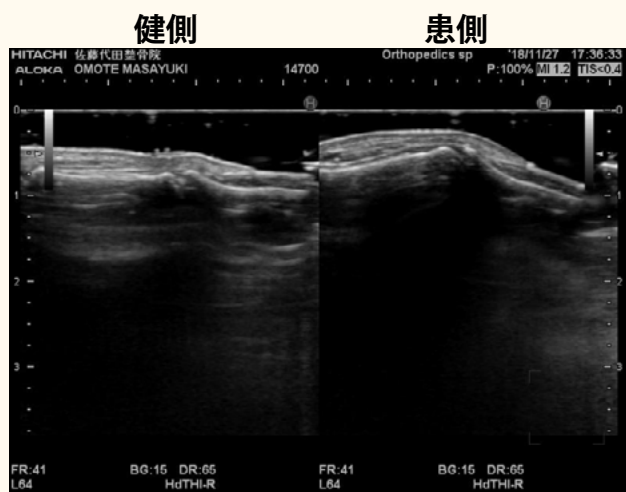
右上の超音波画像は、1週間後の健側と患側です。初見時においても、健側と患側を比較すると、末節骨は掌側に位置しているのが観察され、1週間後には、その転位は増大していることが観察される。



## ■ マレットフィンガーⅠ型

左の超音波画像患側は、患者に伸展支持を促し観察したものです。DIP関節は、腱断裂により屈曲し伸展不可。

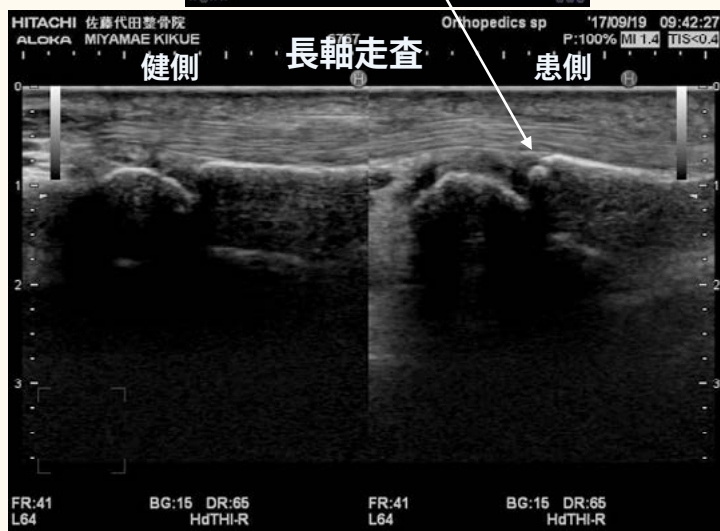
右の画像は、他動的に末節骨を伸展したもので、末節骨基底部に付着する伸筋腱の緊張が消失している事が観察される。



## ■ 基節骨基底部分折 長軸走査

指の骨折で大きく転位したものは、視診、触診、圧痛等で捻挫との鑑別は容易ですが、骨片が小さい場合はその判断に迷うことがあります。しかし、超音波による観察は小骨折の判断を可能にします。

裂離、剥離等の小骨折では、背側からの長軸走査で、骨の線状高エコーの連続性は保たれている場合でも、掌側からの描出で離断を観察することが多くあります。



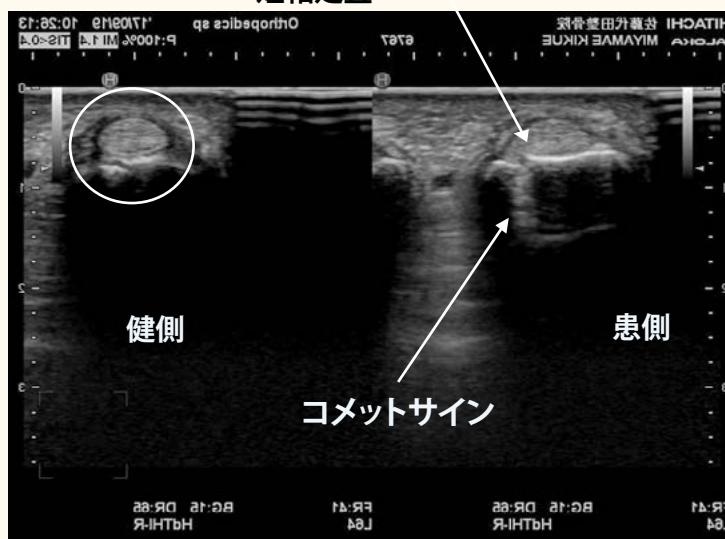
## ■ 基節骨基底部骨折 短軸走査

右下の超音波画像は、短軸にて観察したものです。

左は健側で、骨の線状高エコーをみると、離断されて骨折と間違えることがありますが、右の患側との違いは、骨の線状高エコーの離断部分に超音波が入り込み散乱したコメットサインが観察されます。



短軸走査

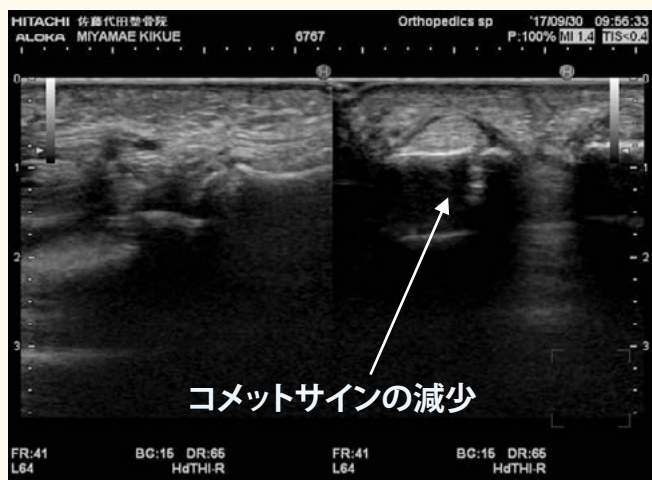


## ■ 骨折部の経過観察

骨癒合により、内軟骨性骨化が出現します。

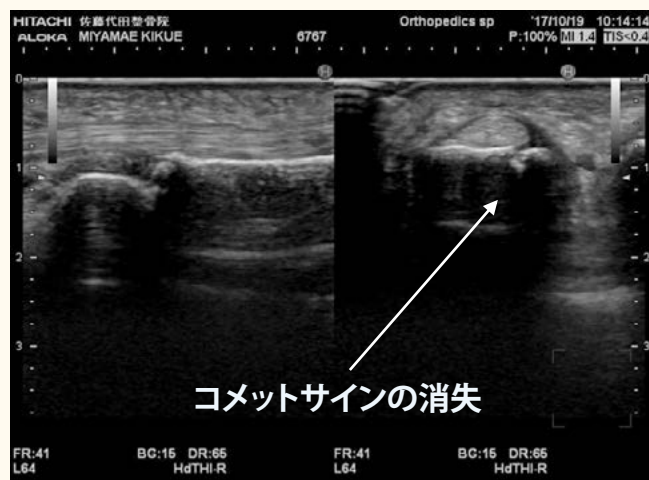
下の画像は短軸走査にて観察したものです。受傷12日後のコメットサインは初見時のものと比べ減少し、26日目ではほぼ消失していることが観察されます。

受傷より12日目



コメットサインの減少

受傷より26日目



コメットサインの消失

## ■ ボクサー骨折

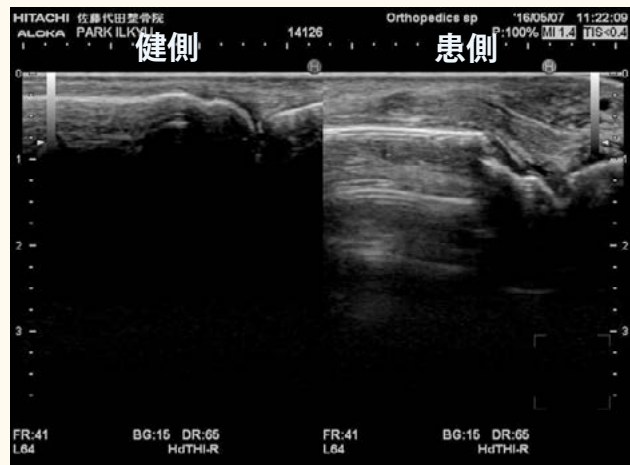
下の超音波画像は、初見時長軸走査にて描出したもので、左が背側、右が掌側からのものです。

これらの画像で、末梢骨片は掌屈への転位を認め、骨折周囲には、出血によるものと思われる無エコーが広がる。

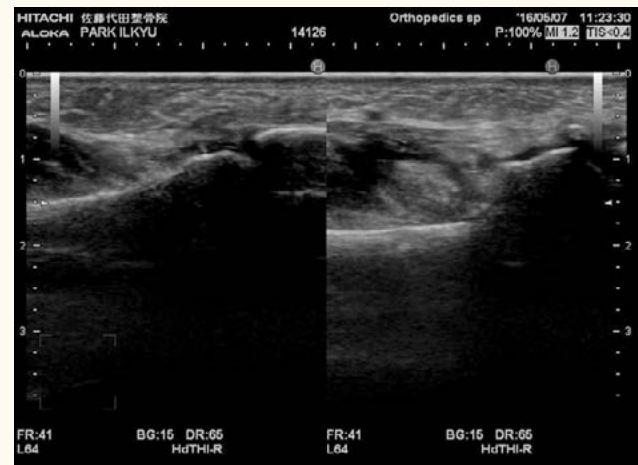
超音波観察では、屈曲転位の状態及び角度を把握することは出来ませんが、捻転転位の判断は困難です。



背側からの長軸走査



掌側からの長軸走査



## ■ ボクサー骨折の整復

ボクサー骨折の整復法は、Jahss法をよく試みますが、今回は超音波でファントムを観察し掌側からの整復法をご紹介します。

まず、視診、触診により指の方向を観ながら捻転転位を考察します。次に、末梢骨片から指全体を把持し長軸に沿って捻転転位をとりながら牽引し、持続をしながら骨頭を背側に圧迫伸展し整復を完了させます。

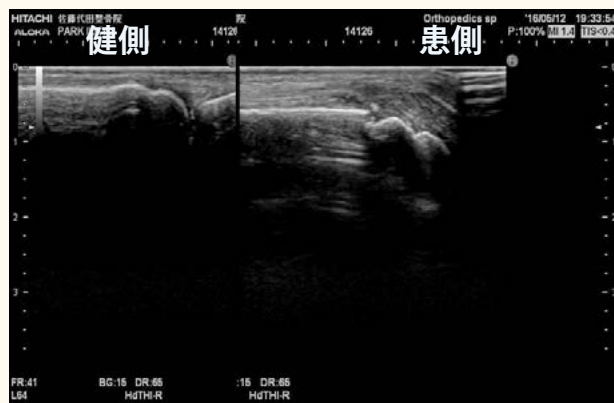


## ■ ボクサー骨折

5日経過

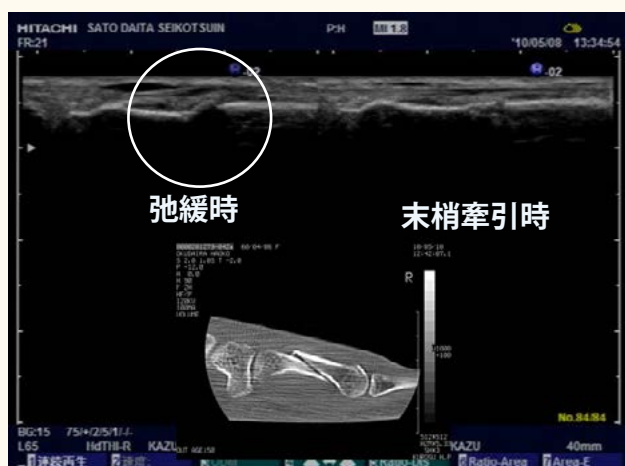
超音波での観察により、整復後の経過を観察します。

右の画像は、固定の不良により、末梢骨片は軽度屈曲を呈し、再転位が観察されます。



## ■ 第3中手骨骨幹部骨折

超音波での観察はリアルタイムを得意としており、長管骨の斜骨折では短縮転位を整復するため、末梢牽引を行いながら観察を行います。



## ■ 可視画像による観察

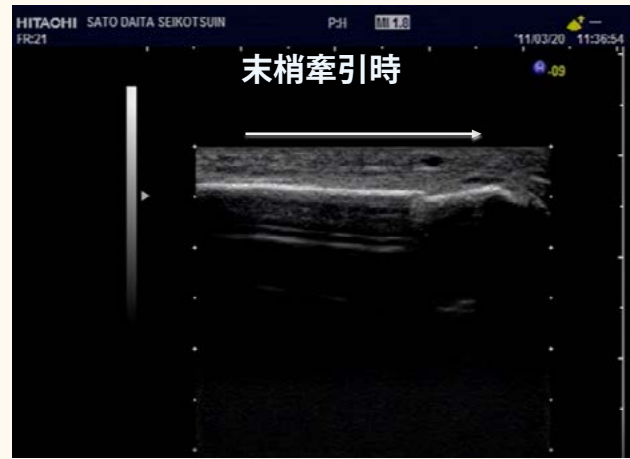
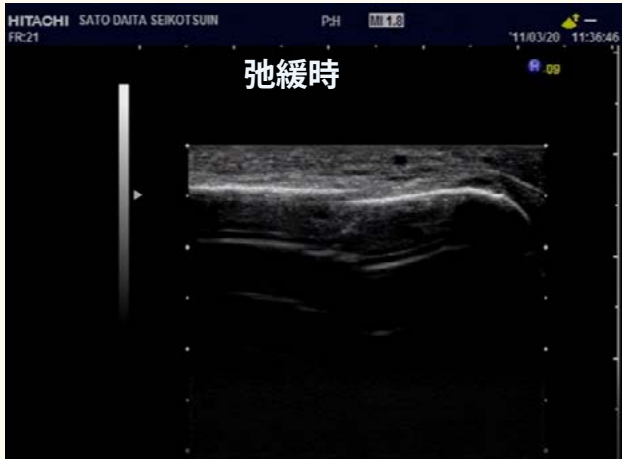
Bモード走査は、長軸走査と短軸走査で多くを観察しますが、スライスした画像は面で物をとらえるため、頭で整理するのに難しいことがあります。そこで、右の可視画像は、短軸像を150枚撮りそれをコンピューターが、一つの物として表現したものです。

可視画像は正確な画像ではありませんが、それを指標として150枚のBモード画像を観察することにより、左右上下の転位及び骨折線の状態も把握することが出来ます。



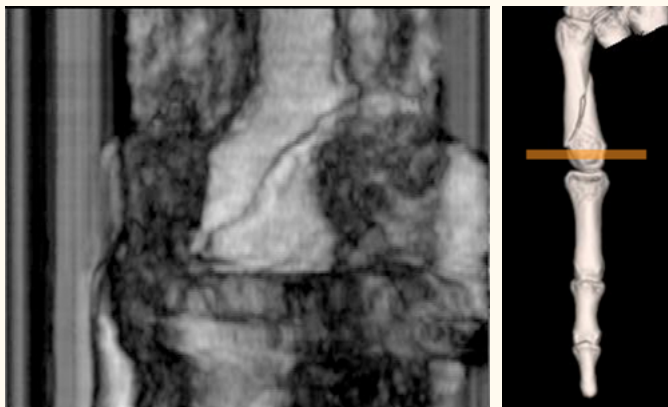
## ■ 第5中手骨骨幹部骨折

末梢への牽引をリアルタイムで観察することにより、整復への状態を把握し、固定後整復が適切な位置にあるかを確認します。



## ■ 可視画像による観察

フリーハンドによりプローブの支持が不安定となるため、可視画像はブレてしまっ精度に欠けますが、Bモードと対比することにより、骨折線の走行及びBモード上での指標としての観察を可能にします。

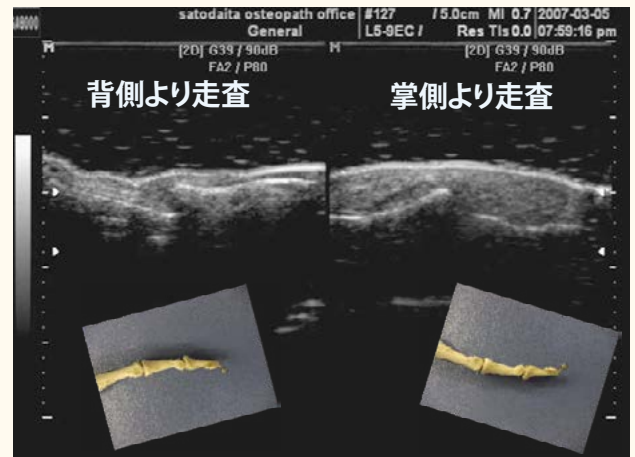
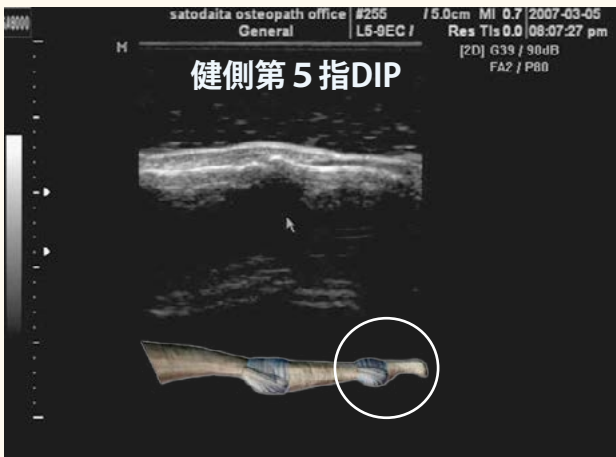


SSB社製ウルトラ三四郎:画像処理ソフト

## ■ 指関節脱臼

脱臼時の状態を超音波観察で把握するには、難しい場所が多くあります。  
それはなぜでしょうか。

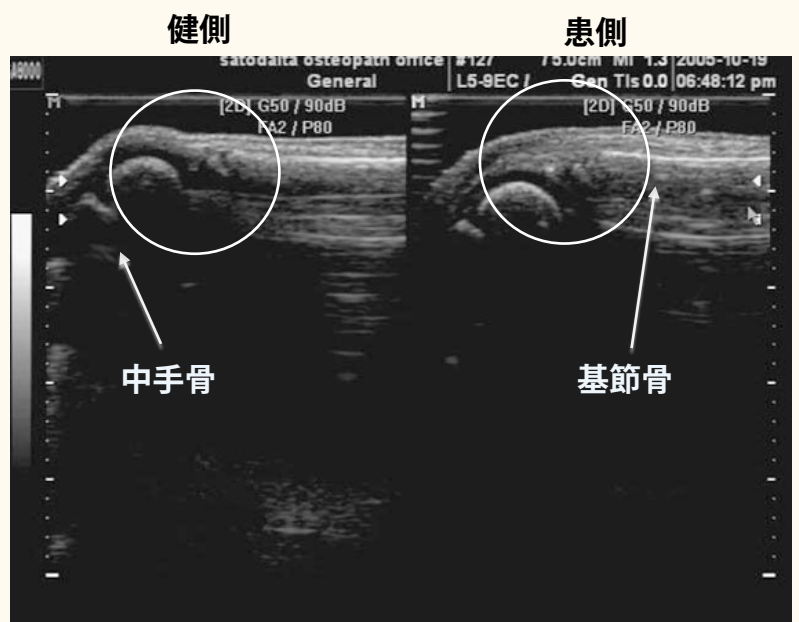
超音波には距離分解能、方位分解能、スライス分解能があり、その中の距離分解能は、深さにおける被験体の一つ一つを見分ける能力のことです。脱臼時、大きく転位してしまうと、この距離分解能により深さの違うものを同時に見ることが困難になります。しかし、脱臼した関節でもう一つ重要なのは、それに伴う骨折の有無です。整復後、超音波で観察することにより、脱臼した際に起こる骨の損傷観察することを可能にします。



## ■ 骨端線離開

右の超音波画像は、MP関節をやや屈曲にして、基節骨を長軸に走査したものです。  
中手骨骨頭及び基節骨基底部の骨端線を観察します。

患側の基節骨基底部分をみると、骨端線部で基底部分が背側に離開しているのが観察されます。



# 新庄村整骨院

## ～開設3年経過報告～

平成30年4月3日、(公社)岡山県柔道整復師会が全面協力し、岡山県の西北端に位置する真庭郡新庄村に、全国でも例をみない行政と本会による整骨院、村営『新庄村整骨院』を開設し、3年が経過しましたので、当該整骨院開設による効果や成果をここに報告する。



### ■ 新庄村整骨院が開設されたことによる村民の意見と担当関係者の見解

＜村民の意見＞

- これまで村には整骨院がなく、最寄りの整骨院まで車で40分程度の移動が必要となっていました。
- 打撲やケガ、捻挫などがあった際に、早期に適切な処置をしていただけるようになりました。
- これまでは、移動がすぐにできないような人は、とりあえず内科でみてもらうか、我慢をするなどの方法しかなかったかと思います。



加藤竜貴会員

＜担当関係者の見解＞

整骨院開設により、受傷後速やかに施術を受けることが出来るようになり、早期の社会復帰が可能になりました。また、より健全な運動機能を早期回復できるようになったと感じています。

また、整骨院の先生による運動教室を開催してもらうことで、運動機能の回復や強化を図ることができ、参加していた高齢者の方は、健康な日常生活を長く送ることができています。

施術時間も1人30分程度見てもらい、丁寧な説明をしていただけるということで、多くの住民の方から喜びの声をいただいています。

### ■ 新庄村整骨院施術管理者の報告

新庄村整骨院では、午前中機能訓練指導を行い、午後3時から6時まで整骨院の業務を行っています。来院患者の多くは高齢者で、外傷としては腰部捻挫、膝関節捻挫、頸部捻挫が多くみられます。原因は田畑での作業による外傷です。交通事情が悪く、家族や近所の方の協力を得て来院する方が多くおられます。市営のバスが村内を循環しており、そのバスを利用して通院することも可能です。若年層の来院数は少ないものの、学生も少数ですが来院しています。

人口が800人ほどで多くの来院は望めませんが、週2回の施術により村民医療や福祉に貢献できていると考えています。また、村民との交流や村役場職員の方々との緊密な連携により、患者様の要望や村の要望、整骨院の要望など話し合いを行いやすく、村民へのフィードバックがスムーズに行われています。

新庄村からは今後も整骨院を継続運営してほしいとの要望を受けており、日本初の村営整骨院として岡山県柔道整復師会としっかりと連携を取りながら継続していきたいと考えています。

## ■ 新庄村整骨院による総合事業の運動教室の効果と介護サービス費の推移

### ①総合事業の運動教室の効果について

#### ア)総合事業運動教室参加者評価

参加者10名という少ない分母ではあったが、概ね好評(90%)であったと推察できる。

#### イ)体力測定結果

フレイルの指標となる握力測定において、3期続けて測定できたのは3名のみであった(期内のスタートの遅れと新型コロナウイルス感染予防のため途中休止)が、いずれも向上が認められた。



問診の様子

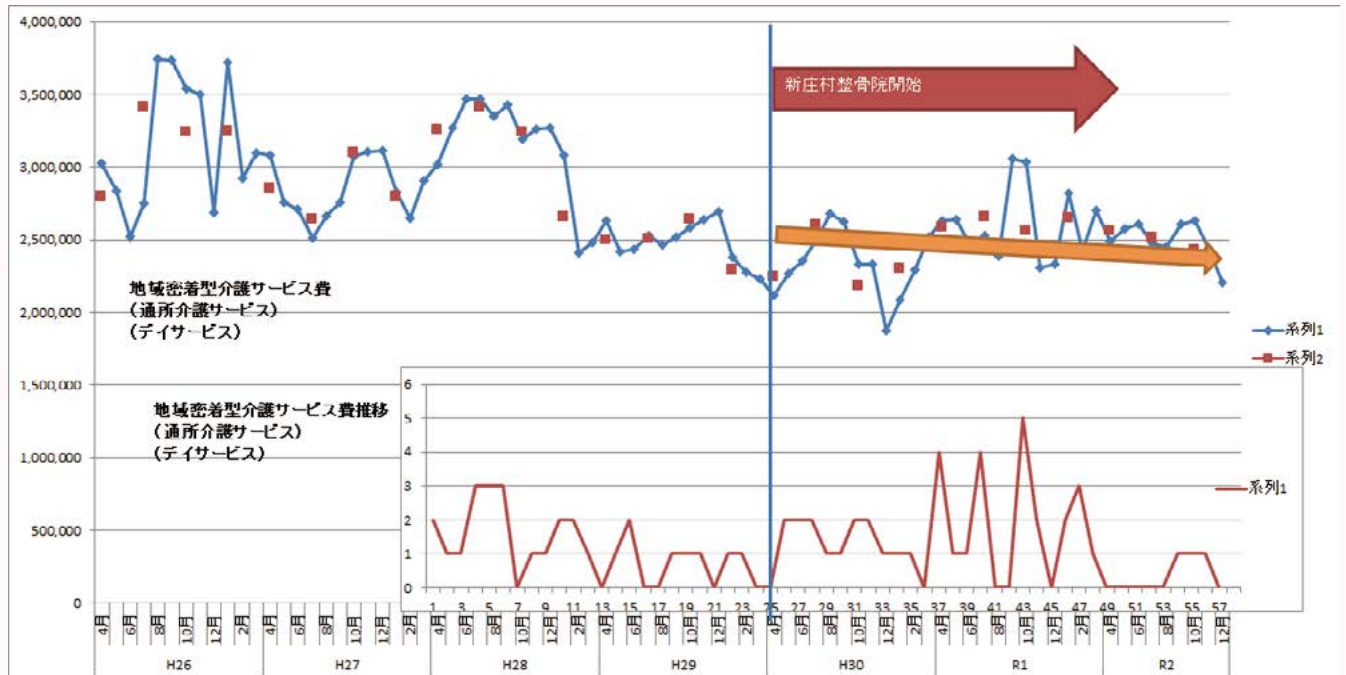
### ②新庄村介護サービス費の推移について

整骨院が開所した平成28年4月以降の当費用については微減を続けていることが確認でき、開所前と開所後3年の時点では、ひと月平均20万円程度の減額が見られる(-8%)。

人口減による推移を考慮するために、介護認定の新規認定者数の推移を下のグラフに表しているが、新規認定者数については平均的に一定であることが分かる。

このことから、整骨院の開所によって、介護サービス費が下がっていると説明ができる。

新庄村整骨院開始以降の新庄村における地域密着型介護サービス費(通所介護サービス)の推移及び新規認定者数



(公社) 岡山県柔道整復師会  
副会長 森本 正章

## 第1回認定機能訓練指導員実務研修会 (アドバンスコース)を開催

日本機能訓練指導員協会では、令和4年2月26日、27日、3月19日、20日の4日間、認定機能訓練指導員実務研修会(アドバンスコース)を日本柔道整復師会(東京都台東区)において開催します。

アドバンスコースは、個別の事例をもとに機能訓練の実際から計画書の作成まで、より実践に備えた研修内容となります。

2月26日には、厚生労働省老健局老人保健課主査 佐野隆一郎氏に「介護保険制度について(仮)」、日本看護協会看護研修学校感染管理学科主任教員 森下幸子氏に「感染症について(仮)」講演いただく予定です。

この研修会では居宅事例、小規模特養施設事例についてグループワークを中心に行い、「痛み」、「IADL」、「活動性を高める」等のアセスメントについて検討し、長期及び短期目標とサービス内容をまとめ、ケアプランに落とし込んで、ケアプランから個別機能訓練の目標を考えていくなど実践的なものとなるよう考えています。

アドバンスコースの受講資格は、認定機能訓練指導員実務研修会(ベーシックコース)受講修了者、日本柔道整復師会 機能訓練指導員認定柔道整復師認定講習会受講修了者、日本鍼灸師会 機能訓練指導員スキルアップ研修講座受講修了者となります。

詳細については、遅くとも年明け早々にはご案内する予定です。

### 認定機能訓練指導員実務研修会(アドバンスコース)プログラム(予定)

#### ■令和4年2月26日(土) 受付12:30

13:00 ~ 13:30	開講式とオリエンテーション
13:30 ~ 14:30	(仮)介護保険制度について(厚生労働省)
14:30 ~ 14:40	休憩
14:40 ~ 16:10	(仮)感染症について(日本看護協会)
16:10 ~ 16:20	休憩
16:20 ~ 18:00	(仮)機能訓練指導員と総合事業について

#### ■令和4年3月19日(土) 受付12:30

13:00 ~ 14:30	脳血管障害の特徴 Tさんの概要
14:30 ~ 14:40	休憩
14:40 ~ 16:10	活動性を高める
16:10 ~ 16:20	休憩
16:20 ~ 18:00	ADL低下の悪環境

#### ■令和4年2月27日(日) 受付8:30

9:00 ~ 10:30	Cさんの概要
10:30 ~ 10:40	休憩
10:40 ~ 12:10	パーセルインディクス等の評価について
12:10 ~ 13:00	宿題の説明+昼食
13:00 ~ 14:30	「痛み」
14:30 ~ 14:40	休憩
14:40 ~ 16:00	「IADL」

#### ■令和4年3月20日(日) 受付8:30

9:00 ~ 10:30	ADL・コミュニケーション
10:30 ~ 10:40	休憩
10:40 ~ 12:10	Gでの計画書の修正
12:10 ~ 13:00	昼食
13:00 ~ 14:30	利用者への計画書の説明と運動の実際
14:30 ~ 14:40	休憩
14:40 ~ 16:00	利用者への計画書の説明と運動の実際



## Recommended Books

# 『パーフェクト疲労骨折』

学術教育部 篠弘樹 部員

繰り返し骨に負荷がかかることで起こる疲労骨折は主要なスポーツ損傷のひとつとしてよく知られ、特に中・高校生に多く発生するとされてきたが、競技スポーツの低年齢化、健康スポーツの普及により幅広い年齢層で増加している。また、下肢・体幹・上肢に至るまで全身のあらゆる骨に発生するため、その存在自体を知らないで見逃すことになる。近年、我々柔道整復師が施術の補助として用いている超音波観察装置は早期の骨膜反応を描出できるため、正確に病態を把握することが可能である。

治療は患部に負荷をかけずに安静にすることが肝要であり、競技復帰には時間がかかることもある。そのため、早期復帰を希望する選手にとっては、早期に発見されること、発生のメカニズムを知って予防することが重要となる。

本書は、Ⅲ部構成で第1章から第9章に渡り「疲労骨折の基礎」、「部位別疲労骨折」、「治療法」、「その他の疲労骨折」と疲労骨折に関する基礎知識から部位別の診断・治療におけるポイント・競技によって発生しやすい部位などについて稀な疲労骨折も含めて記載され、また、疲労骨折のひとつとして骨粗鬆症などの脆くなった骨に起こる脆弱性骨折、最近注目される女子アスリート特有の問題についても解説しており、疲労骨折の教科書的役割のある書籍と考える。



編集 石橋恭之  
発行社 金芳堂  
定価 本体6,400円+税  
ISBN978-4-7653-1729-0

# 理事会 だより

## 2021年度 第6回理事会

開催場所	Web会議(日本柔整会館、各役員所属の都道府県事務所)
開催日時	令和3年9月27日(月曜日) 13時30分～15時50分
理事現在数及び定足数	現在数18名 定足数10名
出席者	理事18名中18名出席 工藤、松岡、三橋、石原、伊藤(宣)、 長尾、竹藤、山崎、川口、徳山、 豊嶋、齊藤(勝)、伊藤(述)、森川、 大河原、富永、齋藤(武)、田村
理事外の出席者	嶋谷監事、高橋監事
議長	工藤会長
司会	三橋副会長

### 会議の概要

Web会議による理事会開催となった。冒頭で議長が司会進行を三橋副会長に依頼した。次に、定足数が満たされていることを確認。そして、議事録署名人については、定款第39条に基づき、工藤鉄男会長と嶋谷清・高橋政夫 両監事とであることを確認した。開会から閉会まで三橋裕之副会長が進行した。

### 議題

#### 第1号議案 『イノベーション本部の当面の戦略について』

松岡副会長から標記について説明があった。デジタル化を各都道府県柔道整復師会にまで行き渡ら

せ、業界発展・持続的成長を繋げる政策実行を、日整イノベーション本部は最終目標として掲げているが、まず、4都府県(茨城・東京・京都・福岡)を一元化するテストを行い、統一規格のシステム・ソフト等を策定する上での問題点や課題を抽出していくことを当面の戦略の第1ステップとして実施することを、審議の結果、承認可決した。

#### 第2号議案 『「常置機関設置規程」の改正について』

三橋副会長から標記について説明があった。先の理事会で決定した「日整イノベーション本部」を、政策部下に設置する標記規定改正案(適用R3.7.28)について、審議の結果、承認可決した。

#### 第3号議案 『「常置機関所管事項規程」の改正について』

三橋副会長から標記について説明があった。役員改選後の現体制の各部所管事項に整理した標記規定改正案(施行R3.9.27)について、審議の結果、承認可決した。

#### 第4号議案 『「野口英世アフリカ賞」基金への寄付について』

三橋副会長から標記について説明があった。日整は平成20年にも寄付をしており、今回改めて内閣府担当者から依頼があり、また医師会等との関係なども踏まえ、審議の結果、寄付をすることについて承認可決した。

#### 第5号議案 『特別賛助会員年会費について(JIMTEF)』

三橋副会長から標記について説明があった。コロナ禍の厳しい状況等を考慮して例年より減額ではあるが、一定額の年会費を納付することについて、承認可決した。

#### 第6号議案 『講師派遣依頼(京都府)』

三橋副会長から議案について説明があった。審議の結果、京都府からの派遣依頼について、令和3年10月3日(日)に三橋裕之副会長を講師として派遣することを承認可決した。

#### 第7号議案 『会費未納者の除籍手続きについて』

## 〔改正案〕

石原財務部長から標記について説明があった。従来の手続きに追加して、10月にも各県あてに会費納入依頼文書を発信することについて、審議の結果、承認可決した。

## 第8号議案 『地方共済組合協議会との協定書の改定について』

伊藤保険部長から標記について説明があった。地方共済組合協議会との協定書改定案(主な改正内容は押印を不要とするもの)について、審議の結果、承認可決した。

## 第9号議案 『匠プロジェクトについて(エコ貸出用の動産保険加入について等)』

長尾学術教育部長から標記について説明があった。審議の結果、標記動産保険に加入することについて、承認可決した。契約については貸出の状況を見てから行う。

⑮ 日整柔道大会について

⑯ 各部報告

(総務部)令和3年度 合同部会について

(総務部)JIMTEF リモート会議報告

(保険部)令和3年度 ブロック別保険部関係説明会について(当面中止、配信・YouTube等も検討中)

## 報告事項

- ① 職務執行状況報告
- ② 東京2020オリンピックパラリンピック報告
- ③ 朝日新聞 夕刊(2021/7/29)掲載記事(東京オリンピック 柔道形演武)
- ④ 「日整登録柔道整復師」の登録状況(R3/7末時点)について
- ⑤ 理事会議事録(7/28)
- ⑥ 日整グループ保険制度 推進のお願い(協力依頼)
- ⑦ NHK「ラジオ深夜便」掲載記事「柔道整復師から学ぶコツコツ健康術」(9月号)等について
- ⑧ 会員あてに届いた警告書について
- ⑨ 事業報告等に係る内閣府への提出書類(修正可能書類通知書 対応)
- ⑩ 予算管理月報(6月)
- ⑪ 日整学術大会について
- ⑫ 指導者講習会等について
- ⑬ 公認私的研究会の変更申請について
- ⑭ 日整トピック(8/4、8/24、9/10発行号)



## 編集後記

新型コロナウイルス感染拡大によって開催が危ぶまれていた東京2020オリンピック・パラリンピックも選手や多くの関係者、日本政府、東京都等の努力により無事終了することが出来ました。日本柔道も金メダル9個、銀メダル2個、銅メダル1個と大変な活躍を見せてくれました。

緊張感に包まれたオリ・パラ開催時と比べ、現在は感染者数も大幅に減少し、ピーク時の100分の1程度に落ち着いています。そうした中、恒例の全国少年柔道大会、形競技会が11月21日(日)、講道館において開催予定です。3年ぶりの開催ということとコロナ禍の大会ということで、主催者日本柔道整復師会では事業部を中心に感染拡大防止に最大限の注意を払い、無観客開催となりますが、出場する子供たちのため、そして未来の柔道のために何とか開催できるようにと準備をしてきました。当日は、会場風景をYOUTUBEでライブ配信しますが、各試合場からの全試合動画を録画して、後日編集し、日整ホームページに掲載する予定です。また、大会の詳細については次号の「Feel! Go!」に記載いたします。ご期待ください。大会を無事に開催し、子供たちも生き生きと戦い、競技している姿が見れることを心から願うばかりです。

儲、今年も残り僅かとなりましたが、日整では新たな業界改革に向けて「イノベーション本部」を立ち上げました。デジタル化を各都道府県社団と会員各位に行き渡らせること、そして業界発展と持続的成長に繋げることを目的としています。全国各社団のデータを日整が一元管理し、統一規格のシステム・ソフトを策定する上での問題点・課題を抽出する作業が行われようとしています。それを元に様々な交渉や電子請求、デジタル化に貢献させようとするものです。コロナで大きく変わった事業形態、働き方、生活様式が、日整での思い切った改革に向かわせているということになります。時代の変化、変遷に乗じて、進歩、発展に向かっている証拠だと思います。このことは「匠の技 伝承」プロジェクト、超音波観察装置の研修・普及と合わせ、業界トップリーダーとしてあるべき姿を日整が示しています。業界の諸問題を解決しつつ、力強く前進する日整のイノベーションは柔道整復師の未来を明るく描き出していることに他なりません。

広報部長 山崎 邦生

11月8日

### お詫びと訂正

前号、日整広報feel! go! vol.257に誤りがありました。ここにお詫びして訂正いたします。

P15 下段表 誤)第4回 顎関節脱臼 → 正)第4回 顎関節脱臼

P34 理事会だより 左上 誤)2021年4月5日(水) → 正)2021年4月5日(月)

令和3年11月20日発行  
公益社団法人 日本柔道整復師会  
〒110-0007 東京都台東区上野公園16-9  
電話 (03)3821-3511(大代表)

発行人 工藤 鉄男  
編集者 山崎 邦生  
制作・印刷所 株式会社外為印刷

ケガは接骨院(整骨院)へ

日本が認めて百年の資格

# 柔道整復伝統の技術

大正九年、日本の柔道家たちは一度とだえた日本古来の施術法、柔道整復術を復活させました。あれから百年がすぎ、柔道整復術は日本が認めた資格として現代医療に貢献しています。私たち公益社団法人 日本柔道整復師会は、独自の伝統を守りながら新しい時代設計を念頭にモラルの低下を防ぎ、未来への改革を進めてまいります。

# 匠の技 伝承プロジェクト

ここに

公益社団法人 日本柔道整復師会は

「匠の技」復活宣言をするものである。

確かな技術・知識・誇り、さらに公益という

モラルを備え持った柔道整復師が地域で施術にあたり、社会に貢献できる仕組みの構築を必ず実現します。

公益社団法人 日本柔道整復師会 会長

工藤 鉄男

## “匠の技 伝承プロジェクト”

公益社団法人日本柔道整復師会「柔道整復術公認100年記念」の一環として、日本伝統医療継承事業による骨折、脱臼の徒手整復・固定、後療及び超音波観察装置(エコー)実技研修を各地域で行い、確かな知識と技術を継承し後世に伝承できる柔道整復師の育成を目指します。



公益社団法人  
日本柔道整復師会

〒110-0007 東京都台東区上野公園16-9  
電話 03-3821-3511(代表)





# Judo Therapist Code of Ethics

Widely recognized as a part of Japan's national medical system, Judo therapy has been passed down from generation to generation. With the aim of continuing the tradition and practice into the future, the following code outlines the philosophy of the practitioners of Judo Therapy, as well as its ideals and goals.

1. Practitioners of Judo therapy shall carry out their work with pride and responsibility, persisting in compassionately aiding humanity through their work.
2. Practitioners of Judo therapy shall endeavor to nurture the people as role models of the nation, while cultivating the spirit of Judo, as they have since the ancient times.
3. Practitioners shall endeavor to value cooperation and respect focusing on their work without acting above or below their positions.
4. Practitioners, while continuously striving for the improvement of the esteemed techniques in the study, they will treat their patients with earnestness, sincerity, and in good faith.
5. With this code, they will honor their entrusted duties, strictly keeping the confidential information obtained in the course of this business, and with all their effort, in the recovery of the patient regardless of race, religion, sex, and any other social status.

June 14 1987

## 柔道整復師倫理綱領

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民族医学として伝承してきたところであるが、限らない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。ここに柔道整復師は、その名譽を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓うものである。

- 1、柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
- 2、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
- 3、相互に尊敬と協力を努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
- 4、学問を尊重し技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度と誠意を以て接する。
- 5、業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず患者の回復に全力を尽くす。